

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要			
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 〇 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 〇 年度～ 令和 〇 年度まで	JR東日本に対して、輸送力強化や施設改修等の利便性の向上について要望を行う。「千葉県JR複線化等促進期成同盟（以下、「期成同盟」という。）に参加し、千葉県及び県下JR線沿線（関連）市町村と連携しながら、複線化等整備促進並びに利便性向上のための運動、資料集及び情報交換等の事業を行う。 ●11月 期成同盟を通じてJR東日本千葉支社へ要望書の提出（終電時刻の繰り下げ） ●通年 担当課長会議への出席（鉄道利用者増に向けた沿線活性化策及び情報共有）		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
鉄道の有する定時性や安定性、安全性等の特性に対しては、市民などから大きな期待が寄せられており、必要不可欠な交通基盤として認識されている。	利用者の減少に伴い、要望が実現されることが難しいため、利用者増を目指している。	地域公共交通網形成計画策定時に行った鉄道利用者へのアンケートや、地区懇談会での住民意見を基に、JRへの要望事項を作成している。	

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 10 日 = 延べ 10 人

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)	
	2年度実績(2年度に行った主な活動)			ア		期成同盟の実施する会議等への参加	回	6	7	7	6	6
	新型コロナウイルス感染症対策のため、書面にて会議を行い、JR東日本や国土交通省への要望の選定を行った。			イ		要望数	件	3	2	3	3	3
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)	
	対象	市民		ア		要望達成数	件	0	0	0	1	
	意図	移動手段の利便性の向上が図られ、生活の質が向上する。		イ								
	対象											
	意図											

①成果優先度評価結果			②コスト削減優先度評価結果		
		成果向上余地			コスト比率
施策貢献度	大きい				
	普通			⑦	
	小さい				

⑦ 成果目標達成率

年度	達成率
H29	0
H30	0
R1	0
R2	0
R3計画	1

① 進捗状況															☐ 完了		☐ 順調		☒ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難		
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																								
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果 比較 動向	比	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度									
			成果指標イ			☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下			29年度	30年度	1年度	2年度	3計画										
	【コメント】 (低下の場合、その理由)										ア	0	0	0	0	1									
										イ															
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な 事項について記載)		時期	内容				今後の 方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()															
		R3.4～R4.3	例年通りJR東日本及び国土交通省に対する要望活動を行う。また要望の実現に必要な、鉄道利用者を増加させるため、総武本線対策部会で、コロナ終息後の利用者増加、利便性の向上に繋がる取組を検討する。							例年通りJR東日本及び国土交通省に対する要望活動を行う。また要望の実現に必要な、鉄道利用者を増加させるため、総武本線対策部会で、コロナ終息後の利用者増加、利便性の向上に繋がる取組を検討する。															